

長岡米百俵フェス～花火と食と音楽と～2022

長岡市・米百俵フェス有限責任事業組合 共同記者発表要旨

日 時：令和4年5月20日（金）午後3時から
会 場：アオーレ長岡 大会議室

【発表項目：長岡米百俵フェス～花火と食と音楽と～2022 事業概要等について】

出席者：長岡市長 磯田 達伸

米百俵フェス有限責任事業組合 総合プロデューサー 北牧 裕幸
(株式会社キューブ 代表取締役社長)

(司会)

長岡米百俵フェス～花火と食と音楽と～2022は、2018年に長岡市と米百俵フェス有限責任事業組合が、次の100年へ新しい米百俵を掲げ事業協定を締結し、未来を担う子供たちの価値ある体験の提供や、ふるさと長岡への愛着の醸成への寄与、広く国内に発信し得る新たなイベントの実施による長岡の認知度向上と新たなファンの獲得、地域経済の活性化を目指し開催しています。

昨年、一昨年に新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催した経験を生かし、今年もしっかりと対策を行い、来場者および長岡市民が安全安心に楽しめる環境のもと実施します。

それではまず初めに、米百俵フェスのプロモーションビデオをご覧ください。

(プロモーションビデオ視聴)

(司会)

続きまして、長岡市長・磯田達伸がご挨拶を申し上げます。

(長岡市長)

今ほど、プロモーションビデオでテーマ曲「輝き」を聞いて、4年前の最初の米百俵フェスの感動、記憶がよみがえりました。昨年は、東山ファミリーランドで開催できず、延期してアオーレ長岡のアリーナで開催しました。室内フェスという形になり、その楽しさはあったのですが、やはり米百俵フェスは音楽と食と花火、キャンプと、自然を満喫しながら音楽を聴く喜びがテーマです。新型コロナウイルス収束の見込みは立っておりませんが、感染防止をしっかり行って今年も開催するということを、昨日の長岡米百俵フェス実行委員会で決定したところです。待ちに待ったフルスペック・フルバージョンの米百俵フェスが、本来の姿である東山で今年は開催されるということを、心から歓迎したいと思います。長岡市としても、感染防止も含めて全面的に体制を整えて臨みたいと思っております。

なお、今年は3年ぶりに長岡まつり大花火大会を開催します。夏は大花火大会、秋はこの米百俵フェスを楽しむ。そのことによって新型コロナウイルスに負けない元気、活力を長岡にもたらしたいと思っています。この米百俵フェスが日本一安全安心な音楽フェスになるよう、多

くの皆様から楽しんでいただけるよう、関係者の皆様をはじめオール長岡で頑張っまいます。

各報道機関の皆様からも、ぜひプロモーションにご協力いただきたいと思いますし、長岡の元気につながる、日本一の野外音楽フェスを目指すというコンセプトですので、その成長をぜひ見守っていただきたいと思います。

(司会)

続きまして、主催者であります米百俵フェス有限責任事業組合総合プロデューサー・北牧裕幸からご挨拶と、事業の内容および開催に当たっての新型コロナウイルス感染症予防対策についてご説明させていただきます。

(北牧総合プロデューサー)

今年の開催概要についてご説明いたします。

米百俵フェスの開催に当たっての最優先事項は、新型コロナウイルスの感染予防対策です。過去2年、ほとんどの国内の野外フェスが中止になった中で、感染予防を徹底して2年続けて開催した米百俵フェスが、今年開催する多くのフェスのモデルとなり、指針になっていると私は聞いております。このため、感染予防についてはいろいろな知見を踏まえた上で、政府の指針にも沿った形で感染予防対策を徹底してまいります。

事業内容についてお話をさせていただきます。まず、今年一番のポイントは、会場が東山ファミリーランドに戻ったことです。昨年は残念ながら、アオーレ長岡での延期公演という形になりました。今回は、会場を東山にするとともに、昨年実験的に開催した前夜祭「宵祭り」が好評だったことから、今年は10月7日、8日、9日の3日間を本祭として開催したいと思っております。さらに、音楽、花火、食、キャンプ、キッズパークという五大要素全てを入れ込んだフルスペックで行います。

アーティストに関しては、本日時点でまだ発表できておりません。3日間の開催にしたことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大がやや落ち着き、アーティストの稼動も増えてきている中での開催ですので、現在、開催期間の3日間の割り振りを調整しております。今のところ、6月中旬に第1弾のアーティスト発表ができる予定で、7月1日から長岡市民割引チケットを発売します。7月1日の前後に、各種プレイガイドの先行発売がスタートできればと考えております。

また、先ほどのプロモーションビデオで流れておりましたテーマソング「輝き」ですが、毎年公募で市内の小学校児童の歌声を録音し、会場で花火とともに流しておりました。しかし昨年が異例の延期公演だったため、東山で児童の歌声を花火とともに流せなかったという事情があります。このため今年は公募を行わず、昨年の新潟大学附属長岡小学校の歌声を使用させていただきますと思っております。

以上が今年の開催概要のポイントです。米百俵フェスに関しましては当初から、親子、孫あるいは友人同士で集まって楽しんでいただく、自然の中で家族の触れ合いや友人たちとの語りを通して長岡への愛着や自分たちの未来への夢を抱いていただくことを目標としております。3日間の開催になるということで、より多彩なアーティストにお越しいただける可能性が広がると確信しておりますので、ぜひ皆様にもご期待いただければと思っております。

(司会)

それでは質疑応答に入ります。

(記者)

出演者の第1弾の発表が6月中旬とのことでしたが、全出演者が決まるのはいつ頃ですか。また、開催日程が増えて3日間になったことで規模はどれぐらいになるのか教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

今のところ、6月中旬に第1弾、7月中旬に第2弾、長岡まつり後に最終のアーティスト発表を考えております。規模については、今までの2日間開催が3日間になりましたので、当然

1. 5倍の想定ではありますが、状況的に言えば、この2年余りの鬱屈した状況から解放されて、野外フェスへの需要やアウトドアへの志向が非常に高くなっており、そういう意味では集客がさらに期待できるのではないかと考えております。

(記者)

来場者を県内在住者に限るなどの制限等は設けますか。

(北牧総合プロデューサー)

今のところ考えておりません。県内県外を問わず、お越しいただきたいと考えております。

(記者)

2018年開催時の参加者数を教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

約1万1,000人です。

(記者)

フードエリア、キャンプ、花火などありますが、過去2年の開催時にどのような内容を一部縮小、中止をしていたのか教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

フードエリアに関しては感染予防を徹底し、新たな取り組みとしてアプリを使っての受注、フードの受け渡しを行いました。キッズパークでは感染リスクのあるアクティビティを控えめました。また、スタンディングエリアに関しては足元にシールを貼って、そこから動かないようにする形での観覧の制限をしました。

(記者)

今年は、席の指定などは行いますか。

(北牧総合プロデューサー)

野外での席の指定は、今年もですが今までもしておりませんでした。ただ、スタンディングエリアで密にならないための対策については、野外の2m以上でのマスクの着脱について政府から指針が出そうですが、私どもとしては密になる場所においては引き続きマスクの徹底等をお願いしようと思っています。

(記者)

今年の新たな感染防止対策はありますか。

(北牧総合プロデューサー)

新型コロナウイルス感染症ということだけに関して言えば、特に新しいものはありませんが、飲食の方法についてはこの2年間の知見を踏まえ、一定のルール作りをしたいと思っています。

(記者)

キャンプ、長岡花火、フードエリアなどフルスペックでの開催ということですが、具体的な規模として、例えばフードエリアの出店予定など今の時点でわかっていることがありましたらお聞かせください。

(北牧総合プロデューサー)

感染予防の徹底という点で、キャンプでどれぐらいの密度でテントを張れるか、フードエリアについては一昨年の感染予防対策はありますが、これについては今後の政府の指針によって、どれぐらい緩和できるのかを検証しなければなりませんので、現状において具体的なことはお示しできない状況です。

(記者)

先ほど1.5倍ぐらいの規模を想定しているというお話でしたが、出演アーティストの目標数を教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

昨年、一昨年は2日間で20アーティスト近く出ただいておりましたが、今回はおそらく25、6アーティストぐらいに増えるかと思っています。

(記者)

チケット販売の目標数を教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

なかなか具体的な数は申し上げられませんが、今までの例で言えば、1日1万人を基本に考えておりました。ただ、10月7日については平日ですので、それよりは少ないと思っています。

(記者)

基本的には、感染拡大前に開催した際の人数を収容する想定ですか。それとも感染防止対策を実施した上での想定ですか。

(北牧総合プロデューサー)

先ほど申し上げたのが感染前の目標値ですので、ここからさらに感染防止対策を取った場合に何人ぐらいになるかということは、これから検証します。

(記者)

長岡花火に関して、これまでよりも増やす、減らすなどの規模感やコンセプト等を教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

長岡花火に関しましては米百俵フェスの大きな目玉で、長岡花火を打ち上げる野外フェスは他にない、ワンハンドオンリーのフェスになる大事な要素だと思っていますので、長岡花火財団とも綿密に打ち合わせをしています。

今申し上げられることとしては、増えることがあっても減ることはないとお考えいただければと思っています。

(記者)

地域住民の皆さんにメッセージをお願いします。

(北牧総合プロデューサー)

夏は長岡まつり大花火大会、そして秋はこの長岡米百俵フェスで、ぜひご家族や友人の皆さんでお集まりいただくのを楽しみにしていただければと思います。ぜひお越しください。お待ちしております。

(記者)

市長にお伺いします。長岡市としてどのように支えていくか、また、改めて市民へのメッセージをお願いします。

(長岡市長)

このフェスは、食、キッズパーク、野外アクティビティ、長岡花火と、音楽プラスアルファの部分が非常にあり、多彩な楽しみがありますが、それだけ多くの方々が関わっているイベントです。その意味でオール長岡で盛り上げていきたいと思っています。長岡市が中心になって調整を図りながら、全体がうまくいくように頑張っていきたいと思っています。

野外で音楽を聴く、食を楽しみ花火を楽しむ、キャンプも楽しむのは初めての体験という方が多いと思いますので、市民の皆様にはぜひ会場にお越しただいて、この楽しみを一度味わっていただきたい、そしてリピーターになっていただきたいと思います。

(司会)

それでは、以上をもちまして記者発表を終了いたします。